

〈日本多発性硬化症協会の HP 12 月より一部抜粋〉

～引用～

令和6年度（2024年度）第32回医学研究助成対象者決定！

認定 NPO 法人日本多発性硬化症協会

今年度は10名の方々よりご応募をいただき、誠にありがとうございました。  
4名の選考委員に厳正なる評価をお願い致しました結果、以下の3名が受賞者と決定されましたのでお知らせ申し上げます。

尚、以下の3名の先生は、令和7年（2025年）8月8日（金）から9日（土）幕張メッセ国際会議場で開催されます第37回日本神経免疫学会学術集会の場において、受賞講演として研究発表される予定です。その詳細に関しましては、学会のプログラムをご参照ください。

葉姿 汶 先生

国立精神・神経医療研究センター 免疫研究部 リサーチフェロー

「神経変性病態の形成過程における I 型インターフェロンの作用の解明」

タカセ・エズギ 先生

九州大学大学院医学研究院神経内科学 学術研究員

「ミクログリアからニューロンおよび成熟オリゴデンドログリアへの  
直接分化転換による再髄鞘化治療法の探索」

野村 太一 先生

北海道大学神経内科 医員

「脱髄による軸索変性と再髄鞘化に Bassoon(BSN)タンパク質変異が  
与える影響の検討」